



特別寄稿

「SDGsを知っていますか？」

宇部市 市民環境部長 藤崎 昌治

4月から市民環境部に着任しました、藤崎と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。さて、最近、新聞やテレビの中でよく聞くようになった「SDGs(エスディージーズ)」という言葉。でも、「SDGsって、何?」「結局どうしたらいいの?」という方も多いと思います。そこで、今回は、SDGsをどのように理解したらいいか簡単にお話ししたいと思います。

「SDGs(エスディージーズ)」とは、日本語にすれば「持続可能な開発目標」のことであり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められた、国際社会共通の目標です。

このサミットでは、2030年までの長期的な開発の指針が採択され、その中に掲げた「持続可能な開発目標(17の目標)」を、SDGsと呼んでいます。貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、21世紀の世界が抱える課題を包括的に挙げています。つまり、SDGsは国や企業だけが意識すべき目標ではなく、私たち一人ひとりの生活や意識の変革を必要とするような目標でもあります。

目標は互いに関連することも多く、課題の解決にあたっては1つのアプローチにより、複数の優先課題の改善につなげていくことが大切です。例えば、気候変動問題解決にあたっては、少子高齢化や地方の活性化の同時解決という方向性も重要でしょう。うまく工夫すれば、これらを同時解決する可能性はあるはずです。

私たちが普段の生活からできることは、まず自分自身が自分たちの住む地域の良さに気づくことだと思います。自分たちは気づいていなくても、他のエリアの人から見ると価値があるということも往々にしてあります。地域の魅力を発掘し、地域の自然資源や再生可能エネルギーなどをうまく使うことで、温暖化対策に併せて地域の経済成長につなげていく可能性も高まるでしょう。

SDGsは、大きな目標として「誰も置き去りにしない」という約束を掲げています。私たち一人ひとりにも、問題解決の為にできる事は数多くあります。2030年の世界を変える為に、まずは身近な社会課題や自分の住むまちに関心を持つ事から始めてみませんか。

中央街区公園の愛称が「わいわいばあ〜く」に決まりました!

平成30年4月9日に、中央街区公園のリニューアルオープン式典が開催されました。

中央街区公園は1955年にオープンして60年余りが経ちましたが、市役所、新川駅周辺、そして中央街区公園を中核とした市街地のコンパクトシティ構想の一環として、3年前から整備の構想が練られてきました。中央街区公園については平成29年初秋よりリニューアル工事が続けられてきました。この度、ステージを含む学習館から北側の区域の工事が完成しました。

(学習館より南側の、国道190号線に至る区域の工事は、引き続き平成30年度に行われる予定です。)



リニューアルオープン式典においては、久保田市長より公募の結果決定した中央街区公園の愛称が発表されました。新しく決まりました愛称は、「わいわいばあ〜く」です。ステージの周辺では新しく薔薇を中心とした植栽が整備され、「緑と花と彫刻のまち」のキャッチコピーに相応しい環境が整えられています。

まちなか環境学習館の利用者の皆様には、工事期間中は大変ご迷惑をおかけしていましたが、今後はリニューアルされた「わいわいばあ〜く」の良い環境の中で、一層のご利用をよろしくお願いいたします。

(宇部市まちなか環境学習館 一同)



宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

まちなか
おそうじ隊

5月27日(日)
15:00~
学習館前集合!

☆☆参加者募集中☆☆

毎月最終日曜日に学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。おそうじの後はお茶会でホッとひと息♪



参加者に宇部市環境地域通貨エコハ2枚進呈いたします!

環境改善技術（SDF（スティング法によるバイオ燃料製造））について

～山口県立宇部工業高等学校の取り組み～

教諭 大濱 進治

本校では、化学製造実習および課題研究においてSDF製造実習を行っています。

SDFとは、SDF=Sting bio Diesel Fuel (STING法によって生成されるバイオディーゼル燃料)です。

詳しくスティング(Sting)を説明いたしますと Simultaneous reaction of Transesterification and thermal crackING (エステル化と熱分解の同時反応)「超臨界メタノール法」の新技术ということ。超臨界、つまり液体と気体の狭間で反応させることによって、従来のBDF製造で副産物として生成していたグリセリンが熱分解され、全てBDF成分(軽油成分)になる製造法です。製造実習時間は約6時間です。



SDF 製造装置



製造された SDF

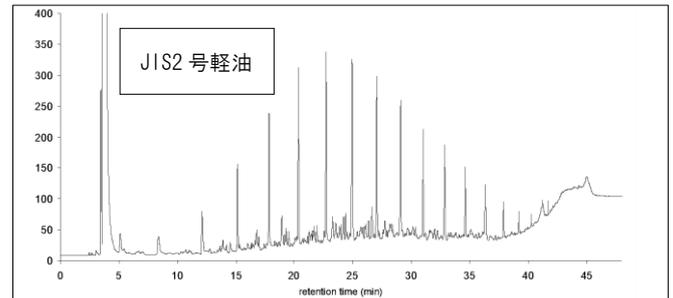
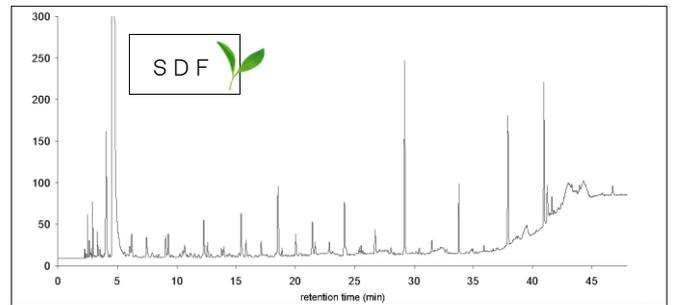


バイオ燃料を環境改善技術と位置づけている意味は、現在の地球に存在するCO₂を吸収した植物から採取される植物油の廃油を原料として製造するバイオ燃料は、現在のCO₂を吸収しているので燃焼させて排出されるCO₂は、吸収したものと同等であるためCO₂の増加に影響しないということになります。これがカーボンニュートラルの考えです。化石燃料(原油)を使用し燃焼させると太古の大気中(太古の大気中CO₂は、現在のCO₂濃度よりかなり高い)のCO₂を排出することになりCO₂が増加します。つまり地球温暖化になるということです

SDF 製造と検証結果

＜次の処理条件で製造します。(圧力：20Mpa 処理時間：約5～6分 温度約：460℃)＞

製造したSDFと軽油の成分を機器分析で比較してみましょう。右図が成分分布です。上がSDFで下がJIS2号軽油です。濃度の差はありますが、リテンションタイムから同等の成分であることがわかります。このことから、SDFは軽油として使用することが出来ます。



ディーゼル発電機

本校では、製造したSDFをディーゼル発電機に使い発電する予定です。



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekankyocom@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)